

平成25年度 施策達成度評価シート (24年度実績評価)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	76	健全な水環境・良好な水循環の創出

評価責任者名	上下水道部長 及川 一男
評価シート作成者名	上下水道部次長 武石 幸久

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を, 何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
水環境施設(汚水処理施設・雨水排水施設) 市民	衛生的で安全な水環境が確保される

2 達成度

(1)成果指標

指標名	単位	指標の性格	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H24実績値	H25計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
汚水処理人口普及率(処理区域内人口／行政区 域内人口)	%	↗	94.9	95.6	95.0	95.8	96.1
下水道雨水施設整備率(整備面積／雨水認可 面積)	%	↗	59.9	60.1	60.1	60.4	60.8

(2)近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
汚水処理人口普及率(処理区域内人口／行政区 域内人口)	青森市83.6%, 秋田市96.9%, 山形市99.5%, 仙台市99.5%, 福島市82.7%, 郡山市87.0%
下水道雨水施設整備率(整備面積／雨水認可 面積)	青森市57.0%, 秋田市47.7%, 山形市28.7%, 仙台市55.6%, 福島市28.8%, 郡山市34.6%

3 達成度評価結果

取組内容と成果	施設整備については、事業効果、緊急度等を勘案しながら整備を実施したことにより、雨水施設整備率では目標値を達成する事が出来た。汚水処理人口普及率については、雨水同様に整備を実施したが処理区域内人口及び行政区 域内人口の増加によって目標値に至らなかった。
成果を押し上げた要因	事業効果、緊急度等を勘案しながら整備を実施している。(雨水施設整備率)
目標と成果とにギャップがある場合、その要因	交付金額が要求額から大幅に削減される中で、事業効果、緊急度等を勘案しながら整備を実施したが、汚水処理人 口普及率について処理区域内人口及び行政区内人口の増加によって目標値に至らなかった。(汚水処理人口普 及率)
これからの課題	現在の財政事情では下水道整備費の抑制傾向は必至であるが、合流式下水道改善事業、改築・更新事業等を行 いながら、総合的な観点から整備を進めていかなければならないことや、未処理地区の整備は整備済み地区に比べ効 率性や費用対効果が相対的に劣ること等から、今後は汚水処理人口普及率、雨水施設整備率とも成果の伸び率が鈍 ることが懸念される。 なお、下水道事業全般について、さらなる経費の節減や収入の安定確保に取り組むなど、経営の健全化に一層努 める必要がある。

4 各主体に期待する役割

	役割の内容
市	抑制傾向にある財政事情の中で、あらゆる状況を精査しながら実施計画等に基づき、汚水・雨水面整備及び幹線整備、合流改善等各種事業を行うこと。
国・県・ 他自治体	当市における下水道事業計画の審査を行い、汚水・雨水面整備や幹線整備、合流改善等各種事業に補助金の交付を行うこと。 災害等非常時における相互応援体制について連携の強化を行うこと。
市民・NPO	下水道整備完了後、速やかな水洗化工事を行うこと。 自らの雨水流出抑制、流水阻害要因の解消等に関する適切な措置及び対応を行うこと。
企業・その他	新技術開発によるコスト縮減対策の提案を行うこと。 自らの雨水流出抑制、流水阻害要因の解消等に関する適切な措置及び対応を行うこと。

5 成果達成への基本事業の貢献度

コード	基本事業	比重
	名称	
761	汚水処理の充実	40
762	雨水浸水対策の推進	40
763	下水道事業の健全経営	20

平成25年度 施策達成度評価シート (24年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	76	健全な水環境・良好な水循環の創出
基本事業			
コード	名称		
761	汚水処理の充実		

評価シート作成者名	上下水道部次長 武石 幸久
-----------	---------------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を, 何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
汚水処理施設 市民	衛生的な水環境が確保される

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H24実績値	H25計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
汚水処理人口普及率(処理区域内人口／行政区内人口)	%	↗	94.9	95.6	95.0	95.8	96.1

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	実施計画に基づき, 汚水幹線並びに面整備を行うこと。	40
	国・県・ 他自治体	国及び県は, 下水道計画が基準に適合しているか審査のうえ認可を行い, 補助金の交付を行うこと。 県は, 流域下水道幹線の整備を行うこと。	30
	市民・NPO	下水道整備地区においては水洗化工事を実施し, 下水道計画区域外においては合併浄化槽を設置し水洗化を行うこと。	25
	企業・その他	新技術開発による, コスト縮減対策の提案を行うこと。	5

平成25年度 施策達成度評価シート (24年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	76	健全な水環境・良好な水循環の創出
基本事業			
コード	名称		
762	雨水浸水対策の推進		

評価シート作成者名	上下水道部次長 武石 幸久
-----------	---------------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を、何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
雨水排水施設 市民	安全な水環境が確保される

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H24実績値	H25計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
下水道雨水施設整備率(整備面積／雨水認可面積)	%	↗	59.9	60.1	60.1	60.4	60.8

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	市は、実施計画等に基づく雨水面整備及び幹線整備を行うこと。	80
	国・県・ 他自治体	国及び県は、下水道事業計画が基準に適合しているかの審査及び認可を行い、補助金を交付すること。	10
	市民・NPO	雨水流出抑制、流水阻害要因の解消等に関する協力を行うこと。	5
	企業・その他	雨水流出抑制、流水阻害要因の解消等に関する協力を行うこと。	5

平成25年度 施策達成度評価シート（24年度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	76	健全な水環境・良好な水循環の創出

基本事業	
コード	名称
763	下水道事業の健全経営

評価シート作成者名	上下水道部次長 武石 幸久
-----------	---------------

1 基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を、何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
下水道事業会計	健全に経営される

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H23実績値	H24計画 （年度目標値）	H24実績値	H25計画 （年度目標値）	H26計画 （最終目標値）
回収率（使用料単価/処理原価）	%	↗	95.50	96.06	96.92	98.03	100.00

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	市は、適正な下水道処理を行うとともに、事業の効率的運用を推し進め、処理原価の低廉化を図ること。	50
	国・県・ 他自治体		
	市民・NPO	下水道事業に対する理解と協力、汚水処理に要する費用相当額を下水道使用料として負担すること。	50
	企業・その他		